

會澤高圧コンクリート株式会社さま サステナビリティ経営への取り組み



會澤高圧コンクリートさまが設定した目標・KPIは概ね順調に進捗しています。
環境面においては、自己治癒コンクリート「Basilisk」や、低炭素コンクリート「CARBON CURE」の生産拡大に加え、MiCon Technology社との廃プラ活用技術の共同開発やCO2を再利用した炭酸カルシウムを使用した製品の開発を継続しており、インパクト創出を確認しています。今後は、工場の操業にかかる燃料の転換や車両の低燃費化などの取り組みを通じて、環境面のインパクト創出を拡大していく予定です。
社会面においては、福島RDMセンターでの雇用拡大や、役職員の賃金アップを通じてインパクト創出を確認しています。今後は、男性も含めた産休育休の取得促進や、ワークライフバランスの拡充などを通じて、さらなるインパクト創出が期待されます。

株式会社北洋銀行

SDGs達成とインパクトへの取り組み

新たな雇用の創出と働きやすい職場環境の整備

	取組内容	K P I実績	K P I目標
1	地元人材を中心とした新たな雇用の創出	13名増員し、総員46名を雇用	福島 RDM センターにおいて2029年度までに地域住民を中心に 80名雇用する
2	働きやすい職場環境の整備 (ア) 男性も含めた育休取得率の向上	産休育休取得率 27% (女性100%、男性0%)	男性も含めた育休取得率を 2022年度の 31%から 2029 年度に 80%に引き上げる
	働きやすい職場環境の整備 (イ) 有休取得日数の増加	有給休暇取得実績 9日	有休平均取得日数を 2022 年度実績 9日から 2029 年度に 15日に増加させる
	働きやすい職場環境の整備 (ウ) 従業員給与のアップ	ベースアップ+諸手当見直しにより、前年比5%増の給与アップ	従業員給与を 2029 年度まで物価変動要素を除き、毎年 2%増加させる
3	多様な人材が活躍する職場環境	女性取締役・執行役員割合20% (外国人執行役員2名増加)	女性取締役・執行役員の割合を 2023 年の 2 割から 2029 年度に 5 割に引き上げる
		13名増加し、総員51名	女性設計/技術職を 2022 年度末の 38 名から 2029 年度に 70名に増加させる

コンクリート製品の製造と環境負荷低減の両立

	取組内容	K P I実績	K P I目標
1	自己治癒コンクリート「Basilisk」生産拡大	他社向け実績：3,453㎡ 自社製品実績：11,042㎡ CO2削減量：1,500t	2029 年度に「Basilisk」を他社供給向けで 124,000 ㎡、自社使用向けで127,000 ㎡生産し、CO2 排出量を 2020 年度対比 31,500t 削減する
2	低炭素コンクリート「CARBON CURE」生産拡大	製品5プラント、生コン2プラントに実装し、JIS外品のHパイルやプレキャスト製品、生コンに採用 CO2削減量：373t	2029 年度に CARBON CURE Technology の技術で生産するコンクリート全量の配合を見直すことにより単位セメント量を 5%削減し、CO2 排出量を 2020 年度に比して 3,340t削減する
3	廃プラを活用した「MiCon Technology」を活用したプレキャスト製品の製造	2026年度実装に向け、Micon Technology社と共同で、移動式コンテナサイズの製造設備を開発継続中	2029 年度に「Micon Technology」により廃プラを 415t 再利用し単位セメント量を 2～3%削減することにより、CO2 排出量を 2020 年度対比430t 削減する
4	スラッジ水（排水）と排ガス中の CO2 を再利用した炭酸カルシウムを活用したプレキャスト製品の製造	CC炭カル生成技術開発完了。 大気中からCO2を採取する装置を選定中で、同装置の実装により製造可能となる	2029 年度に CO2 の再固定化量を 12,400t とする 2029 年度にスラッジ水を使用した炭酸カルシウムを 31,000t 生産する
5	高炉スラグ微粉末を使用したセメント量の削減	主に鶴川工場に投入。総セメント量の60%を高炉スラグに転換 CO2削減量：2,386 t	2029 年度に CO2 排出量を 2020 年度対比 20,000t 削減する
6	電力の再生可能エネルギー化と使用燃料のグリーンエネルギー化 (ア) コンクリートハイブリットタワー「VT」(風力発電設備)の設置	電力の再生可能エネルギー化と使用燃料のグリーンエネルギー化 (イ) 蒸気ボイラーの燃料を重油から LPG に転換	2029 年度に自社の CO2 排出量 (scope1,2) を 2020 年度対比 20,000t削減する
	電力の再生可能エネルギー化と使用燃料のグリーンエネルギー化 (ウ) 運搬車、営業車、通勤車両の水素自動車化	電力の再生可能エネルギー化と使用燃料のグリーンエネルギー化 (エ) 再生可能エネルギー由来の電力に順次変更を実施中	
	電力の再生可能エネルギー化と使用燃料のグリーンエネルギー化 (イ) 再生可能エネルギー由来の電力に順次変更を実施中	電力の再生可能エネルギー化と使用燃料のグリーンエネルギー化 (イ) 再生可能エネルギー由来の電力に順次変更を実施中	
7	期限付きカーボンニュートラルを志し企業間での包括的な技術移転を行うアライアンス「a NET ZERO イニシアティブ」の拡大	アライアンスを順次拡大中 プレキャストメーカー52社・生コンメーカー74拠点と提携	2024 年度にプレキャストコンクリートメーカー50 社、レディミクストコンクリートメーカー50 社と技術提携を行う

